

令和7年度：学校経営方針

佐世保市立清水中学校

【校訓】 「凜と在れ」

＜学校教育目標＞ 「明るく、自ら求めて学ぶ生徒の育成」

＝目指す生徒像＝

生命を大切にし 豊かな心をもつ生徒（徳）
心身が健康で 粘り強くやり抜く生徒（体）
意欲をもって自ら学び 創造する生徒（知）

＜教育活動の理念＞

- (1) 信頼される学校
- (2) 尊敬される教師
- (3) ともに歩む学校・地域

＜学校経営の基本方針＞

- (1) 安全・安心の学校
- (2) 学校は組織体である。
- (3) 学校は学びがいを感じる場である。

1 学校教育目標の具現化のために

- (1) 生命を大切にし 豊かな心をもつ生徒（徳）
 - 道徳教育の要としての「特別の教科 道徳」の指導の充実
 - 「自己有用感」「自己肯定感」を高める指導の充実…道徳性の涵養
 - 道徳的実践の場としての生徒会活動の充実とJRC活動の推進
- (2) 心身が健康で 粘り強くやり抜く生徒（体）
 - 「できたこと」「学べたこと」を認め励ます指導の充実
 - 健康、安全教育の充実
 - 関係機関との連携を含む教育相談体制の充実
- (3) 意欲をもって学び 創造する生徒（知）
 - 「めあて」「まとめ」「振り返り」を大切にした授業の実施
 - 単元の課題を見通した指導計画の整備と実践
 - 「スマートスクールSASEBO」を始めとするICT機器の効果的活用

2 教育活動の理念

- (1) 信頼される学校
- (2) 尊敬される教師
- (3) ともに歩む学校・地域

3 学校経営の基本方針を具現化するために

(1) 安全・安心の学校は、教育の前提条件である。

- 報告・連絡・相談・提案の充実…情報共有と適切な対応
- 危機管理の徹底（自然災害・情報セキュリティ・感染症対策等）
- 清掃を含めた環境整備の充実

(2) 学校は組織体である。…健全な職員室は、健全な教室へと波及する。

- 全員が担任…生徒対応は、最大の優先課題
- それぞれの取組・実践を尊重しながらの共通理解と最低限の共通実践
- 「一人で抱え込まない、一人に抱え込ませない」職員集団「チーム清水中」
 - ・チームで行う教科指導…指導情報の連携と共有
 - ・チームで行う生徒指導…「受け」と「攻め」、「剛」と「柔」
 - ・チームで行う校務分掌…「縦」と「横」の連携
 - ・チームで行う保護者対応…情報の共有による複数対応
 - ・チームで行う不祥事根絶…お互いに声かけによる「笑顔の職員室」

(3) 学校は学びがいを感じる場である。…授業で勝負

- 全員参加の授業づくり
- 「学び」の見える化
- 積極的な授業公開と、実践の共有

4 重点努力事項

1 「自己肯定感」「自己有用感」をはぐくむ教育活動の推進

…授業、生徒会活動を含めた諸活動、JRC活動などで生徒の活躍の場を保障し「あなたのおかげで…」と言われるような生徒を育てます。

2 自立した人間を育てる生徒指導・キャリア教育

…「社会の役に立てるからこそ、社会で認められる」を合い言葉に、生徒の成長を認めながら、社会で認められ、大切にされる生徒を育てます。

3 「何がわかったのか」「何ができるようになったのか」が確かめられる学習指導

…「めあて」で学習の目標を確認し、「まとめ」で振り返る授業を実施し、学力を向上させます。

4 ひとりひとりを大切に、ニーズに応える特別支援教育の充実

…生徒の「困り感」に寄り添いながら、支援についての合意形成を図り、誰からも大切にされる生徒を育てます。また、生徒を支援するため関係機関との連携や情報共有を積極的に行います。

5 様々な課題に対応できる力ある職員集団づくり

…生徒の実態、時代の要請に即した「現職教育」の充実と、生徒の変容をめざした「自主研修」の実践により、職員の資質向上を図ります。

6 業務の見直しと働き方改革の推進

…「健全な教育活動は、健全な学校職員から」を合い言葉に、学校の業務量を削減します。学校職員の勤務時間は、週休日・祝日を除き 8:00～16:30

7 「開かれた学校づくり」の推進と、「信頼される学校」への変革

…ホームページ等を含めた積極的な学校教育活動の公開と、保護者、地域、校区小学校、関係機関との連携により、生徒の向上的変容を目指します。

【本年度の清水中学校教職員心得】

- 1 「重なり」「交わり」「繋がり」＝関心をもつ・我が事として捉える（脱無関心）
⇒思いの共有。方法は違っても、目指す先は同じ。
同じ釜の飯を食い、苦楽を共にして同じ喜びを味わう。
- 2 勤務規律遵守への高い意識⇒プロ集団としてのプライドの堅持。
さらなる信頼の構築へ：期日、時間の厳守
※不祥事根絶に対する高い意識、仲間の変化（悩みを汲む・感じる）
- 3 働き方改革への実践⇒心身の健康、余裕が生み出す働き甲斐、やる気の向上。
職員のゆとりが、生徒一人一人への観察、関わりの深さへ＝生徒の安定が保護者の安定へ⇒生徒の成長への還元
※計画性をもった年休等の取得推進（取りやすい環境）
※電話対応時刻（7：30～完全下校1時間後）
- 4 返答、反応をスピーディに⇒途中経過であっても、連絡、報告。（放置はなし）
相談、報告した甲斐を！…「相談して、話して良かった」：信頼の上乗せへ
- 5 「スクラップ」&「ビルド」
 - ・「過去の踏襲」の見直し
 - ・正確性を保ちながら、効率化の推進
 - ・教育内容の精選…変えるもの、無くすもの、残すもの
- 6 「初めて」だからこそその挑戦！ …まず一歩
 - ・新年度を迎え各自が“初めて”のことへの出会い、取組み→楽しみ・喜びに
- 7 笑顔で出勤、笑顔で退庁⇒ここ（清水中）に勤務して良かった…自校に誇りを！